

国際総合健康専門学校自己評価報告書

令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

学科：ヘルス・プロモーション、スポーツトレーナー、健康ビジネス

達成度評価：5 達成、4 ほぼ達成、3 どちらともいえない、2 不十分、1 不適切

1. 教育の理念・目標

1-1. 基本理念・目的及び目標は定められているか	5
1-2. 基本理念・目的及び目標に基づく教育が行われているか	5
1-3. 学科の将来構想を抱いているか	5
1-1.2.3 本校は、学校教育法及び私立学校法の規定に基づき健康増進に関する専門的知識及び技術を修得させ、職業若しくは实际生活に必要な能力の育成と教養の向上を図ることを目的とする。（学則第1章第1条） 高齢少子社会が進む、今まさに必要とされる総合健康分野の人材育成により、地域社会に貢献し、健康の輪を広げることが理念であり目標である。 多様な学生の特性を尊重し、活かしていくために、個別指導の強化・業界の実態を把握し理解するための現場実習の質の向上を推進する。	

2. 学校運営

2-1. 専修学校設置基準に沿った適切な運営が行われているか	5
2-2. 運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	5
2-3. 基本理念・目的及び目標に沿った事業計画が策定されているか	5
2-4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	5
2-5. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
2-6. 学校運営を維持向上させるシステムは機能しているか	5
2-7. 危機管理体制は整備されているか	5
2-8. 施設・設備等の安全性の確保はされているか	5
2-1 予算役員会、決算役員会の開催時に現在の運営状況及び今後の運営方針について確認され、理事・評議員・監事の承認を得ている。 2-2 教職員会議及び研修等により現状確認から今後のイベントの開催予定や新規事業の提案等について確認され、それらの実現に向けた意思決定が行われている。 2-3 予算役員会、決算役員会の開催時に事業計画について確認され、理事・評議員・監事の承認を得ている。 2-4 就業規則や給与規定等整備されている 2-5 学生管理システムなどシステム化の充実に取り組んでいる 2-6 会計士による財務に関する書類作成、外部監事による監査を受け、学校運営の維持向上に努めている	

2-7	地震、火災等の災害に対する安全管理マニュアルを整備し、避難訓練を実施している
2-8	水質検査や貯水槽清掃、校舎安全点検等は記録され安全性の確保に努めている

3、教育活動

3-1	基本理念・目的及び目標に沿ったカリキュラムが編成されている	5
3-2	授業評価の実施・評価体制はあるか	5
3-3	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5
3-4	教育の質の向上に役立つ環境が整っているか	5
3-5	目的・目標に向け授業を行う資質を備えた教員を確保しているか	5
3-6	基本理念・目的及び目標が学内で共有できているか	5
3-7	教職員の評価を行っているか	5
3-8	教職員の意識共有・向上及び能力開発等の研修が行われているか	5
3-1	カリキュラム等編成会議冒頭に基本理念・目的及び目標に沿って検討することを申し合わせ進行している	
3-2	学生に個別の進路指導及び生活指導を前後期それぞれ実施する中で授業評価アンケートを行い、教員会議で共有し、質の高い授業を求めたカリキュラムの改善や新たな研修の開発に活用している	
3-3	試験（筆記・パフォーマンス）成績、出席状況、学習態度等を総合して決定し、10段階評価としている。成績表には10・9（80点以上）＝A、8・7（70点以上）＝B、6・5（60点以上）＝C、4・3・2・1（59点以下）＝D・Eと表示し、単位認定はC以上としている	
3-4	学期末会議の中で教育の質の向上を目指す改善点等を確認・検証し、必要と思われる研修の実施及び研修への参加を尊重するなど、学校環境そのものを質の向上につなげるため教職員間の向上心意識を共有している	
3-5	専任及び非常勤教員の採用要件一つとして、基本理念・目的及び目標に共感できることとしている	
3-6	学生には入学前の説明会及び入学後のオリエンテーションで基本理念・目的及び目標の説明を行い、教職員と学生間で意識の共有を実現している	
3-7	校長による教職員個別面談及び授業評価アンケート資料を基に評価の共有を図り、必要と思われる研修への参加を促すなど教職員の質の向上になるよう工夫している	
3-8	質の向上を求める教育環境を整え維持継続するため、教職員の意識共有・向上及び能力開発等を目的とする内外ともに必要と思われる研修の実施及び参加を尊重し、原則的に研修にかかる費用は学校負担としている	

4. 学生支援

4-1 就職に関する支援体制は整備されているか	5
4-2 学生相談に関する整備はされているか	5
4-3 保護者と適切に連携しているか	5
4-3 卒業生への支援体制はあるか	5
4-4 学生の心身の健康管理、事故、怪我等のサポート体制はあるか	5
4-5 学生の生活環境への支援は行われているか	5
4-1 個別の面談を定期的に行い学生の希望と業界の現状の理解を深め、情報収集及び企業説明会への参加等を総合的に分析し、就職希望先を選定、並行して面接および試験対策も指導している 4-2 入学当初や就職活動中などがメンタルケアを必要とすることが多いが、入学前から出身学校の教員、保護者、学生本人と本校担当者の信頼関係の構築をしてきているため、日常的に学生が相談しやすい環境整備はできている 4-3 様々卒業後の支援はしているが、特に卒業後の離職相談の窓口となり職の継続支援をする、離職する場合は再就職支援を行っている 4-4 毎年6月初めに定期健康診断を実施、体調不良や予期せぬ怪我等など保健室で対応する、必要であれば早退、病院への搬送等、学生の心身の状態に必要なと思われることに努める 4-5 経済的な問題等、生活環境の変化などによる相談は個別に受け、習学環境を維持できるように支援している	

5. 学生募集および受け入れ

5-1 学生の受け入れ方針は定められているか	5
5-2 学生募集活動は適正に行われているか	5
5-3 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	5
5-4 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5
5-5 適正な定員設定および在籍者数になっているか	3
5-1 本校の基本理念・目的及び目標に共感している在校生及び卒業生の紹介を軸に信頼関係が構築されている教育機関からの推薦者を受け入れている 5-2 学校説明会及び授業体験を通して学内環境や入学要件、学納金等について十分な理解のもと公平な選考を適正に行っている 5-3 誤解が生まれないように、教育成果について口頭での説明をするが、在校生及び卒業生、所属学校の担当教員や保護者の意見を十分に確認して判断するように促している 5-4 複数回の学校見学及び実際の授業参加を通して、入学希望者及び本校の双方が選考基準を十分に確認したうえで行われている 5-5 適正な定員設定であると判断しているが、コロナ渦から学生数が減少しているため	

適正な在籍者数とは言えない

6. 財務

6-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
6-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
6-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
6-4 財務情報公開の体制整備はできているか	5
6-1 学校法人国際学院の役員会において財政基盤は安定していると評価されている、 予期せぬ事態に備え、学生のために十分な教育環境の確保ができるよう、財政基盤の維持に努めるよう申し合わせている	
6-2 予期せぬ事態に備え、学生募集業務に多くの経費をかけない等、在校生の教育環境維持経費以外の経費削減に努める方針が特徴であるが、学校法人国際学院の役員会において承認されている	
6-3 財務計算書類は公認会計士のもと適正に処理し外部監事の会計監査を受け、学校法人国際学院の役員会で承認されている	
6-4 学校法人国際学院財務情報開示規定に定められ、関係各位からの請求があった場合、財務関係書類の閲覧ができるよう整備できている	

7. 法令遵守

7-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
7-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
7-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
7-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
7-1 学校法人国際学院の役員会において私立学校法及び専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされていると評価されている	
7-2 学校法人国際学院の個人情報保護規定および個人情報保護方針に定められている	
7-3.4 私立学校の自己点検・評価及びその結果の公表義務に基づき、毎年点検評価を行い、教職員会議及び役員会で承認を得て、その結果を公開している、教職員会議及び役員会、その他関係各位からの指摘がある場合は改善に努め改善している	

8. 地域社会貢献

8-1 学校の教育資源や施設を活用した地域社会貢献を行っているか	5
8-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	5
8-1 教育資源・施設を活用して高専連携授業を実施する、中高生や地域住民に自身の基礎トレーニング・身体ケアなどのための開放をしている	
8-2 被災地のボランティア活動や部活動・福祉施設等におけるボランティア活動を奨励・支援している	

